

令和7年11月19日

調査研修報告書（議員用）

報告者： 岡 野 茂

実施場所： 長崎県長崎市魚の町 3-33 長崎県建設総合会館	実施日： 令和7年11月12日～13日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 人口減少が続く庄原市は、今後、ますます財政状況が悪化し、厳しい財政運営が続くと予想されることから、今一度、予算・決算を採決する議員の責任として、財政状況を客観的に理解し把握できる資質を高めることを目的とする。	
■参考とすべき事項 ○決算カードをチェックする。 ・基金総額の把握 ・基金取崩しの推移（3年から5年程度）⇒ 財政危機の予兆 ・収入の構造（税収と交付金）の理解 ・徴収率のチェック ・実質収支と実質単年度収支による収支の確認（実質単年度収支が重要） ○予算書・決算書 ・事業の成果を精査 ・監査報告書をチェック ・人口減少が続く中、組織体制の見直し・歳出削減の取組み ○客観的なデーターの確認（類似団体と比較が原則） ・決算カード ・財政状況類似団体比較カード（総務省） ・財政状況資料集（各種分析データ：総務省）	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・徴収率の向上対策 ・特定目的基金の見直し ・財政調整基金の効果的な運用の研究と実施（総務省アドバイザー派遣も可能） ・庄原市公共施設等総合管理計画（令和6年3月改定）・未利用財産の利活用・利活用方針（平成20年5月策定）・庄原市旧学校施設の利活用方針（平成28年2月策定）の執行と進捗管理の徹底 ・広報媒体・施設・車両等の広告料収入の検討 ・無駄な事業の廃止や前例踏襲予算の見直し ・大分県国東市の資金管理運用（基金運用）を参考とし庄原市も導入検討	